

概観

【政治・社会】

- ・大統領が国家安全保障諮問会議を招集。大統領の求めに応じ、政府から、①シェンゲン域加入問題（加入準備の進展状況）、②密輸の取締問題、③捜査における盗聴器の濫用問題、について報告。
- ・ブルガリアの司法・内務改革に関する欧州委員会中間報告が発表された。政府の組織犯罪・汚職取締の成果を評価し、今後の具体的課題を指摘。ボリスフ首相は報告内容に満足、とコメント。

【経 済】

- ・2010年、暫定経済成長率は対GDP比0.3%、財政赤字暫定値は対GDP比3.9%。
- ・2010年第4四半期失業率は11.2%に増加。
- ・2010年経常収支赤字は、2億8200万ユーロ（対GDP比0.8%）。

この月報はブルガリア各種メディアの報道ぶり等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

政治・社会

1. 内政

◆「汚職防止・対策センター」始動へ

▶ボリスフ首相は、「汚職防止・対策センター（BORCOR）」（昨年設置法制定）の幹部人事、組織等を順次発表した。同センターは、汚職の兆候・リスクの調査及び評価を行い、検察局に対し報告するのが任務。捜査や検挙は行わない。

▶センター長は首相府安全保障問題顧問だったルメン・ミラノフ氏、スタッフ数は約150名、うち40名は首相府職員、残りは関係省庁からの出向となる。

▶センターの設立準備には、ドイツ内務省の専門家が協力した。ドイツは同センター設立・運営費への資金協力も行っている。

◆与党GERB、ツヴェタノフ副首相兼内相を選挙対策本部長に任命

▶15日、与党GERB党幹部会はツヴェタノフ副首相兼内相を本年秋に実施される大統領選及び

地方選の選挙対策本部長に任命した。

◆パルヴァノフ大統領：「国家安全保障諮問会議」招集

（22日）

▶パルヴァノフ大統領の招集に応じ、22日、国家安全保障諮問会議が開催された（注：大統領は、国家の安全保障に関わる重大な問題が発生したと判断したときには、同諮問会議を緊急に招集することが出来る）。ボリスフ首相、ツヴェタノフ副首相兼内相、デヤンコフ副首相兼財務相他、関係閣僚、ヴェルチェフ検事総長、院内総務等の主要議員等が出席し、①シェンゲン域加入問題、②密輸問題、③盗聴器等を用いた捜査の横行等の問題について、大統領に報告を行った。

▶諮問会議において、大統領は、市民の間で盗聴器を用いた捜査が横行しているとの印象が広まっていることへの懸念を表明し、盗聴器等の使用は独立した監査機関による管理が必要だとの見解を示した。また、煙草等の密輸の横行による国家的

損失は10～15億レバに上るとし、取り締まり強化の必要性を指摘した。

▶一方、デヤンコフ財務相は、同諮問会においてシェンゲン域加入のための国境警備関係の準備作業は3月中には完結するとの見通しを示した。

2. 外政

◆ブルガリアの司法改革・汚職対策等の進捗に関する中間報告書：欧州委員会（2月18日）

▶今次中間報告書では、司法改革を継続し組織犯罪に関連する特別法廷の開設等、司法制度改革に関する重要な法改正を実施したこと、税関の構造改革を継続し、汚職防止・対策センター(BORKOR)設立を決定したこと、高官レベルの汚職事件で有罪判決が出ていること等を評価した。

▶また、本年夏頃を予定している次回報告までの課題として、汚職・組織犯罪捜査のための、より効率的な財産差押えに関する法の制定、利害対立事案(conflict of Interest)の特定及び制裁を実施する機関の設置、司法改革への更なる取り組み、組織犯罪及び汚職対策に関する具体的実績づくり等を指摘した。

▶ボリスフ首相及びムラデノフ外相は、「ブ」政府は報告書の内容に満足し、建設的な勧告を受け入れると表明。最高裁もまた、同報告書の内容は期待通り、と表明した。

◆ツベトコビッチ・セルビア首相：ブルガリア訪問（2月21～22日）

▶首脳会談では、ブルガリア側から、セルビア南東部ボシレグラードに所在する19世紀の英雄ヴァシル・レフスキ氏の記念碑を参詣しようとした

経 済

1. マクロ経済

◆GDP成長率

▶国家統計局は、四半期毎のデータに基づく2010年の暫定的なGDP成長率は、0.3%増と発表。

ブルガリア市民が、両国間の国境地帯で旅券を取り上げられ、足止めされた事件に対し、強い遺憾の意を表した。

▶足止めされたキュステンディル市関係者は、毎年記念碑を訪問しているが、入国が認められなかったのは初めて、と述べている。

◆ファン・ロンパイ欧州理事会常任議長、ヤーグラン欧州評議会事務総長：ブルガリア訪問（2月23日～24日）

▶ロンパイ常任議長及びヤーグラン事務総長はボリスフ首相と首脳会談を行い、「ブ」のシェンゲン協定加入、ユーロ貨の導入及び東方パートナーシップ等につき協議した。

▶ロンパイ常任議長は記者団に対し、必要とされる要件を満たした上での「ブ」のシェンゲン協定加入は、ハンガリーEU議長国の優先事項であることに変わりないと強調。これまでの「ブ」の取り組み及び目標達成への決意を称賛した。

▶ヤーグラン事務総長は、パルヴァノフ大統領、ツァチェヴァ国民議会議長、ボリスフ首相及びムラデノフ外相らと会談。同事務総長は、記者団に対し、シェンゲン協定へのブルガリア参加を欧州評議会として支援する旨表明した。

▶第4四半期については、対第3四半期比1.7%増、対前年同期比2.1%増。

◆財政赤字

▶財務省は、2010年の暫定財政赤字額は約28億レバ、対GDP比3.9%と発表。

◆失業率

▶国家統計局は、2010年第4四半期の失業者数は、約382,400人、失業率は11.2%であると発表した。前年同時期と比較すると109,600人の増加。

▶性別毎にみると、男性の失業者数の増加が大きく、その失業率は12.1%、一方、女性は10.3%となっている。年代毎にみると、15～24歳の若年層の失業者が多く、70,400人であり、全体の26.5%を占めている。

◆対EU貿易（1月＝11月）

▶国家統計局は、1月～11月期のブルガリアの対EU諸国輸出は約170億レバを計上し、対前年比23.8%増と発表した。主な取引相手国はドイツ、イタリア、ルーマニア及びギリシャであり、全体の約61.6%を占める。殆どの輸出品目が増加しており、減少した品目は「飲料及びタバコ」のみであった。

▶輸入に関しては、対前年同期比9.9%増加した。貿易収支は29億レバの赤字。

◆外国直接投資（FDI）

▶中央銀行は2010年のFDI額について、約13億5千万ユーロであり、対前年比58%となったと発表した。

▶主な投資元は、オランダ、ドイツ。また、主な投資分野は「エネルギー分野」で全体の25%を占める。

◆経常収支赤字

▶中央銀行は、2010年経常収支赤字について、2億8200万ユーロ（対GDP比0.8%）となり、2009年の35億ユーロ（対GDP比9.9%）と比較し、大幅に減少したと発表した。

◆インフレ

▶国家統計局は、1月のインフレについて前月に

比べ0.6%、前年に比べ4.5%上昇した旨発表。「食料及び非アルコール飲料」が対前月比1.4%上昇していることが物価上昇を牽引していると分析している。

2. その他

◆ブルガリアワインの状況

▶2010年におけるワインの輸出は前年比10%増加し、約57,683,000Lを記録。主な輸出先はロシアで、前年比20%増加した。その他の輸出先はポーランド、英、チェコ、リトアニア、独。輸出したワインの8割はボトルワインが占める。国民一人当たりの年間消費量は約5.9L。

◆再生可能エネルギー（RES）法改正法案、閣議決定

▶2日、閣僚評議会においてRES法改正案が承認され、国民議会に提出された。

▶同法案は、これまで採用されてきた優遇固定買取価格によるエネルギーの長期買取契約制度を保証している。また、国民への省エネ意識の啓蒙、省エネ技術開発、及び交通分野における省エネにも言及し、広く地球温暖化防止に関して定める条項を含んでいる。

▶さらに、同法案では行政手続の効率化等を目的とする安定的エネルギー開発庁（Agency for Stable Energy Development）の設立を予定している。

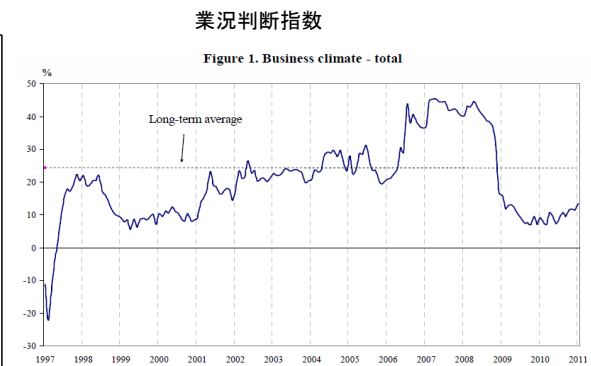
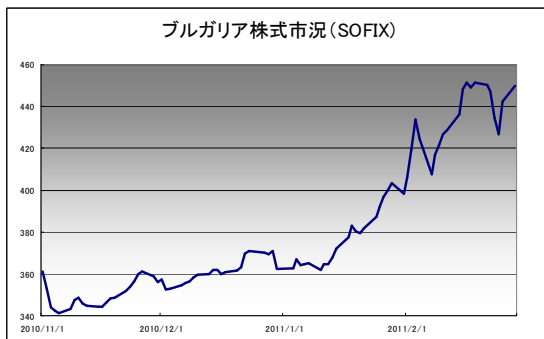
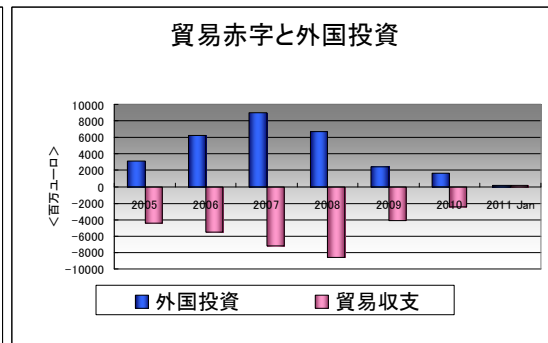
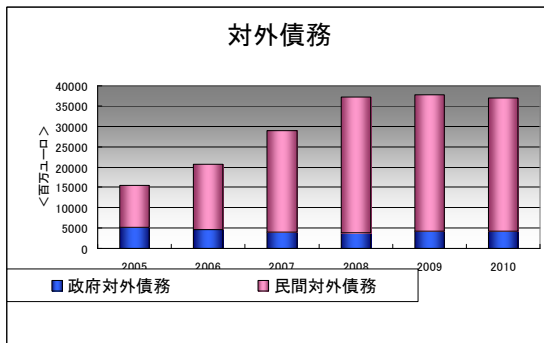
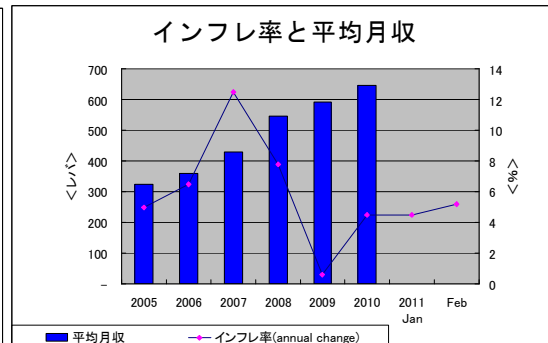
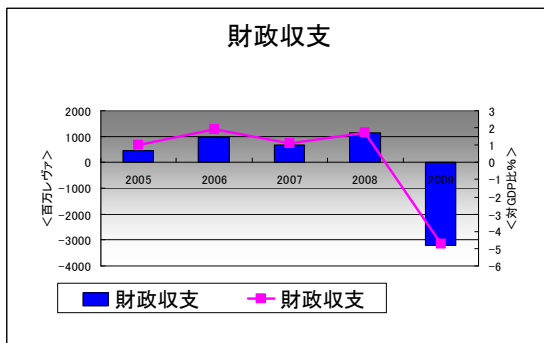
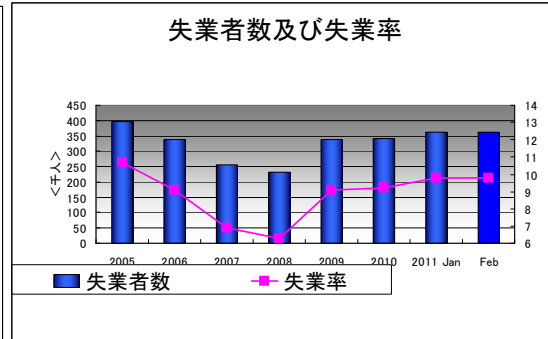
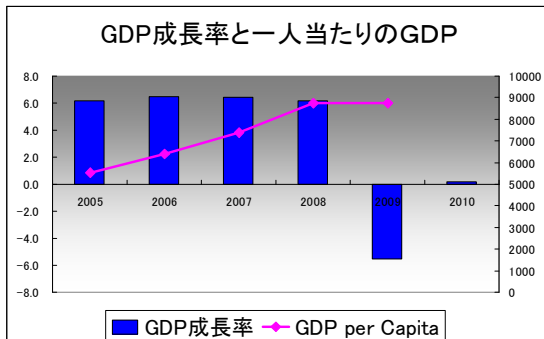
=====

ブルガリア内政・外交の動き（2月）

在ブルガリア大使館

1（火）	☆ヴェルナー・ファイマン喫煙連邦首相：ブルガリア訪問（～2日）
2（水）	
3（木）	☆ボリスフ首相：欧州理事会出席（於：ブリュッセル）（～4日） ☆ムラデノフ外相：ミュンヘン安全保障会議出席（～6日）
4（金）	●国民議会：移住・宗教問題担当無任所大臣ポストの廃止を決定
5（土）	
6（日）	☆ツァチェヴァ国民議会議長：イスラエル訪問（～7日）
7（月）	
8（火）	
9（水）	
10（木）	☆マルムストルム欧州委員会内務委員長：ブルガリア訪問（～11日） ☆ダッリ欧州委員会保健・消費者政策委員長：ブルガリア訪問 ■早朝、ガレリア紙事務所で小包爆弾が爆発。死傷者なし。
11（金）	☆タヤーニ欧州委員会副委員長兼産業・企業委員長：ブルガリア訪問 ☆レヴァンドフスキ欧州委員会予算・財務計画委員長：ブルガリア訪問
12（土）	
13（日）	
14（月）	●最高行政裁判所：ドガンMRF党首の収賄容疑、無罪確定 ●パルヴァノフ大統領：国家安全保障諮問会議を招集（22日に開催）
15（火）	●与党GERB：選挙対策本部長にツヴェタノフ副首相兼内相を指名
16（水）	●ヨフチェフ国家保安庁長官辞任
17（木）	
18（金）	☆ブルガリアの司法改革・汚職対策等に関する中間報告書発表：欧州委員会
19（土）	
20（日）	
21（月）	☆ツベトコビッチ・セルビア首相：ブルガリア訪問（～22日）
22（火）	☆ムラデノフ外相：デンマーク訪問 ●国家安全保障諮問会議開催
23（水）	☆ファン・ロンパイ欧州理事会常任議長：ブルガリア訪問（～24日） ☆ヤーグラン欧州評議会事務総長：ブルガリア訪問（～24日）
24（木）	
25（金）	☆ツヴェタノフ内相：EU司法・内務理事会に出席
26（土）	
27（日）	
28（月）	

ブルガリア経済指標（2011年2月）



ブルガリア主要経済指標

<GDP成長率と一人当たりのGDP>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010
GDP成長率 (%)	6.2	6.5	6.4	6.2	-5.5	0.2
GDP per Capita (BGN)	5529	6411	7379	8753	8735	

<財政収支>

	2005	2006	2007	2008	2009
歳入 (million BGN)	464.5	960.5	682.9	1148.8	-3210.7
財政収支 (% of GDP)	1	1.9	1.1	1.7	-4.7

<失業者数及び失業率>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011 Jan	Feb
失業者数 (千人)	397	338	256	232	338	342	362	362
失業率 (%)	10.7	9.1	6.9	6.3	9.1	9.2	9.8	9.8

<インフレ率と平均月収>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011 Jan	Feb
インフレ率 (%)	5	6.5	12.5	7.8	0.6	4.5	4.5	5.2
平均月収の伸び(%)	324	360	431	545	591	647		

<対外債務>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010
政府対外債務 (million EURO)	5197.6	4547.3	4092.3	3908.7	4172.5	4283
民間対外債務 (million EURO)	10309.3	16143.6	24924.5	33203.7	33635.6	32635.3

<貿易赤字と外国投資>

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011 Jan
外国投資 (million EURO)	3152	6222	9052	6728	2412	1639	103.8
貿易収支 (million EURO)	-4410	-5562	-7245	-8597	-4174	-2413	111.7
輸出 (million EURO)	9,466	12,012	13,512	15,204	11,787	15,588	1,591
輸入 (million EURO)	13,876	17,574	20,757	23,801	15,889	18,000	1,479